

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ころこ			
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日 ～ 2024年 10月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0名	(回答者数)	0名
○従業者評価実施期間	2024年 9月 20日 ～ 2024年 10月 4日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 18日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの自主性を大切に活動した活動を日々意識し取り組んでいるところ。	長期休暇での遠足や調理実習など子どもたちのリクエストを聞き、活動に取り入れている。	意見を言えないお友達も、日々の様子から好きそうなことや、やりたそうなことを汲み取り活動を取り入れていきたいと思っています。
2	保護者とLINEをつなげさせていただき、いつでも連絡を取り合っている。 保護者の皆様には、いつでも親身になってくれ相談できるのでありがたいと言っていると思います。	事前に写真の公表の有無をお聞きして毎回LINEで日々の様子を写真や動画で送りとても好評をいただいております。	保護者の皆様のご意見を取り入れながら今後も継続していきたいと思っています。
3	決まったことを全員でするのではなく、それぞれにしたいことを尊重し、子どもたちが選択して活動できるようにしている。	工作の道具を充実させる。 行きたい公園が違ったりする場合など、2箇所に分かれて行動する。	子どもたちの希望を叶えられるよう一人ひとり寄り添って支援をしていきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	手話のできる少ないスタッフが少ない。	聴覚支援学校の子どもの利用が増え手話が必要になってきたため	手話講座などを受講し、手話を学んでいる。
2	カリキュラムがないため1日の計画が立てにくい。	子どもの自主性を大切にしているため。	季節ごとの壁面制作や子どもが喜ぶ工作を考える。
3	多方面への関わりが少ない。 地域・他の事業所など当事業所以外の人や子どもと接する機会が少ない。	土日祝が休業のため、関われる日時を合わせにくい。	長期休暇に取り組んでいきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス ところ					公表日	2024年10月31日			
						利用児童数	0	2024年10月31日	回収数	0
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。								
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。								
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。								
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。								
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。								
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。								
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。								
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。								
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。								
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。								
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。								
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。								
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。								
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。								
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。								

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。						
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。						
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。						
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。						
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。						
	29	事業所の支援に満足していますか。						

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスこころ		2024年 10月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・公園や散歩に行く等工夫されている ・体を使う遊びは17時以降に人数が減ってからしている ・活動しやすいように片付け広いスペースを確保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・送迎専門のスタッフを増やし所内に居るスタッフを減らさない ・利用人数や子供の状態に応じてシフトを作成している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		トイレや玄関はバリアフリーです	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・一日の中で定期的にアルコール消毒をしている ・支援前や後には必ず消毒をしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・子ども達が一人になれる空間を作っている 小部屋があり気持ちを落ち着かせたりするスペースがある	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		週に一回会議を設け、情報を共有したりこどもたちに対しての支援の見直しなど話し合っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・前年までは毎年11月にアンケートを実施し結果を元に会議で話し合い ・保護者の方々の思いを受け止め今後より良い支援が出来るように努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		スタッフ同士で話をする時間が毎日ある 疑問に思った事や不安に感じた事等はその都度、職員間で共有し話合える環境となってい	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		今後検討していこうと考えています
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に研修が行われており学ぶ機会は確保されている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		半年に一度のモニタリングを行い子どもや保護者の意向だけではなく、日々かかわっている職員にも話を聞き検討し作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員間で子どもの日々の様子や課題などについて話を検討し作成している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		子どもの支援が切れ目なく一本化されるように考えて作成し支援している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		会議などで職員同士で話し合い決めている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		子ども一人一人特性に応じて考え作成し支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日スタッフで話をして情報共有している 職員間で一日の流れなどを確認しあい職員同士で連携し業務を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	送迎時に保護者からの話をききその日に気づいたことはライン等で発信している	支援終了時には送迎等で時間外になる為ラインやメールでの打ち合わせを行っている。次の日には改めて共有し直し確認していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		子どもが利用した日の様子などを個別記録に記入し職員で共有しより良い支援につながるようになっている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に一度モニタリングを行い支援計画の見直しをしています	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		子どもの状況を共有し児童発達管理責任者が参加している
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	子ども達にたいしてより良い支援が出来るように関係機関と情報を共有し連携していきたい	保護者や相談員と連携し対応しています
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		保護者や相談員と連携し対応しています
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			定期的に事業所に来て頂き支援の仕方についてアドバイスを貰いそれを取り入ながら日々子供達と接している	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		地域の公園等での接点はあるが交流の機会があれば活動していこうと思います
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3		保護者の希望があれば開催したいとは思いますが、中には父母の会等を必要とされていない保護者もいるので設けていません。ただ個人的なつながりを希望される保護者には双方の許可を貰い繋げる事はさせて頂いています
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		お便りを作成し行事予定などを記載し配布している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		鍵付きの棚に保管し取り扱いには十分に留意している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		ホワイトボードや絵カードを使いコミュニケーションが出来るようにしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		不定期ですが、子ども食堂を開催
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		月に一度、避難訓練などを実施している。いつでも見て貰えるようにマニュアルを貼っていたりまとめた物をファイルに閉じている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		月に一度、避難訓練などを実施し検討し改善を行っている。また防災リュックの見直しも定期的に行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット用紙に記入し週一回の会議の際に報告し職員間で共有し話し合い再発防止に努めている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的に研修が行われている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			